

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和6年度 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立赤坂台中学校  
校長 藪上 智行

中学校区におけるめざす子ども像  
社会の中で人とつながり、より良く生きる子

## 令和6年度 重点目標

教育目標：「ともに学び 主体的に活動する生徒」を育てる

重点取組：◆学校群の取り組みを生かした「総合的な学力」の育成 ◆いじめや不登校の未然防止 ◆特別支援教育の推進 ◆授業改善の推進 ◆信頼される学校づくり

### 「確かな学び」の現状

子どもたちは落ち着いて授業に取り組むなど、おおむね前向きな気持ちで学校生活を過ごすことができている。  
一方、子どもたちへのアンケートの結果から、わからないことを考えることや自分の考えをうまく伝えられるよう工夫することに苦手意識を持っているという課題が見られる。  
ICT 機器の活用を推進しながら、子どもたちが主体的に活動できるよう授業改善に取り組んでいく。

### 「豊かな心・健やかな体」の現状

子どもたちは学年が上がるにつれ、自分に自信をつけながら他者を思いやる気持ちを醸成できている。アンケートでの、自分の得意なことを知っているか や 困っている人がいる時にできることを考えるか の質問などからもそのことがうかがえる。授業や学級集団・学年集団での取り組みの効果が表れていると捉えている。  
引き続き、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組み、主体的に活動できる生徒を育て教育活動をすすめていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)				
								自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	個に応じた教育	個別最適な学びの展開	●誰一人取り残さないことをあきらめない授業づくり	授業実践、生徒の状況	授業見学等による検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○	生徒一人1台のパソコンも活用し、共同的な学びも取り入れながらわかる授業の取り組みを進めた。今後、学力の向上につなげたい。	○	誰一人取り残さないために「学ぶことの楽しさ」が伝わる授業づくりに、引き続き取り組み、よりいっそうの推進を期待する。
			●生徒用 PC などのICT機器を用いた授業の工夫改善	授業実践 ICT 活用状況 生徒の状況	授業見学等による検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○			
	総合的な学力の育成	学校群の取り組みを生かした「総合的な学力の育成」	★学校群の組織体制を基にした小中教員の相互交流によるカリキュラムおよび授業の改善	授業実践、小中合同の取り組み状況	授業見学等による検証およびアンケート	年度末	◎	順調に進んでいる	◎	義務教育9年間を見通した他者につながる社会とつながる取り組みの推進のため、小中連携を行い生徒指導体制の共有、体育の授業の連携、防災教育の合同授業の実施、授業相互見学による授業改善など積極的に、取り組んだ	◎	学校群の取組を積極的に進めており、アンケートの結果からも評価できる。他学年との交流や地域との交流などの観点から非常に有意義である。教員の過度な負担となることのないよう配慮しながら、引き続き取り組みを進めていただきたい。
			★義務教育9年間を見通した他者につながる社会とつながる取り組みの推進	授業実践、生徒の意識	授業見学等による検証およびアンケート	年度末	◎	順調に進んでいる	◎			
			★小中が連携した「総合的な学習の時間」の充実	授業実践、小中の連携状況	授業見学等による検証およびアンケート	年度末	◎	順調に進んでいる	◎			
	豊かな心・健やかな体	心の教育と体力向上	人権教育と体力向上の推進	学級・学年におけるお互いを認め合える集団作りを通じた生徒の自尊感情の高揚	個々の成長、集団の状況	状況検証およびアンケート	年度末	◎	順調に進んでいる	◎	創立50周年式典などの学校行事に積極的に取り組めるように、自尊感情を高める指導を実践し、積極的に行動できる子どもが増えた。人権に配慮した指導を心掛けるようにしているが、今後、子どもたちが自ら人権について考え学んでいける場を数多く設定していきたい。	◎
部活動等、生徒の自発的な活動による健康増進				新体力テスト、生徒の状況	新体力テスト結果 状況検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○			
計画に基づいた人権教育・道徳教育の推進				計画と実践内容、生徒の状況	状況検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○			
生徒指導体制の充実	生徒理解に基づく指導体制の構築	●いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決のための組織的な取組	学校全体の実情、生徒の状況	状況検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○	定期的に校内委員会をもち、組織として機能はしてきた。しかし、いじめや不登校は一定数あるので、早期発見と早期解決を図れるように、ICT も活用しさらなる取り組みをすすめる必要がある。	○	生徒からのアンケート結果は良好である。また、特定の教職員で抱え込まずに組織で対応していることは評価できる。引き続き、子どもたちが相談しやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。	
		生徒指導委員会・特別支援教育委員会の定期的な開催による組織的な生徒理解	委員会の取り組み状況 生徒の状況	状況検証およびアンケート	年度末	◎	順調に進んでいる	◎				
地域協働	信頼される学校	開かれた学校づくりの推進と安全確保	★学校群の取り組みを軸とした積極的な情報発信および地域との連携による活動	生徒・保護者・地域の意見	状況検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	◎	防災教育やASFなどの地域交流事業など子どもたちが、積極的に地域と連携できるような取り組みをすすめた。今後、生徒が自ら安全への意識を高められるようにしたい。	◎	先生方の働き方改革とのバランスを考慮しながら、地域と連携した活動にも積極的に取り組んでいることは評価できる。行事において小中PTAの活動の場の設定をお願いしたい。
			●事故等の未然防止および適切な安全体制の構築	安全確保の取り組み状況と実態	状況検証およびアンケート	年度末	○	おおむね順調に進んでいる	○			

### 校長より (年度末)

今年度、地域や関係機関から多くの協力をいただき、「小中連携」および「地域との連携」を進めることができた。次年度も「中学校区におけるめざす子ども像」および「学校教育目標」の達成のために、持続可能な形を模索しながら小学校および地域との連携をさらに深めていく。

### 学校関係者評価者から (年度末)

教育目標に向けた取り組みが、成果を上げていると捉えている。教員のみなさんの心身の健康に努めながら、子どもたちの総合的な学力の育成に向けた取り組みを引き続き進めていっていただきたい。